

令和4年度SC3加盟団体との 意見交換（業界行脚） 結果報告

2022年11月28日
SC3事務局

業界団体等との意見交換実施概要

今後のSC3運営に向けて会員（業界団体等）との連携強化を図るため、経産省・IPAにて業界団体等との意見交換会を実施。

【SC3加盟業界団体等との意見交換】

- 時期：令和4年7月～11月
- 対象団体：SC3発足時に意見交換等を行った業界団体等を対象に31団体に実施
- 意見交換テーマ：

1. 団体におけるサプライチェーン・セキュリティに関する取組内容

- ・ 意見交換先団体におけるサプライチェーン・セキュリティに関する取組内容
- ・ これまでのSC3の活動に対する所感

2. IT導入補助金の活用を含むお助け隊サービスの活用・推奨依頼

- ・ 「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の団体での活用可能性や、活用促進に向けた問題点・要望等

3. 中小企業対策強化WG 「中小企業向けセキュリティ対策オンラインセミナー」の開催案内および周知依頼

4. 攻撃動向分析・対策WG 経営層向けコンテンツのご案内・意見交換

- ・ 会員企業における経営層向けコンテンツに対する評価や、会員企業経営者に直接ご説明する機会の提供依頼

5. 今後のSC3の活動に対する期待

□ ヒアリング先（50音順）：

情報処理安全確保支援士会、情報通信ネットワーク産業協会、石油連盟、全国社会保険労務士会連合会、全国信用金庫協会、全国地方銀行協会、第二地方銀行協会、太陽光発電協会、中小企業診断協会、電気事業連合会、電子情報技術産業協会、日本医療機器ネットワーク協会、日本医療機器産業連合会、日本印刷産業連合会、日本化学工業協会、日本ガス協会、日本金型工業会、日本機械工業連合会、日本経済団体連合会、日本建設機械工業会、日本航空宇宙工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本損害保険協会、日本鉄鋼連盟、日本電機工業会、日本風力発電協会、日本防衛装備工業会、ビジネス機械・情報システム産業協会、保健医療福祉情報システム工業会

意見交換実施結果

業界団体等との意見交換会の実施結果（団体から提示された主な意見）は以下のとおり。

1. 団体におけるサプライチェーン・セキュリティに関する取組内容

＜各団体における取組＞

【取組例】

- ・ セキュリティ対策についてのセミナー（ランサムウェア、標準型メール攻撃対策）を実施（事業団体）
- ・ 団体内でサイバーセキュリティ対策に関する部会を立ち上げ、啓発・周知活動を実施（製造業団体）
- ・ 会員の金融機関において、顧客向けのセキュリティ対策関連のセミナーを実施（金融団体）
- ・ 一般向けにサイバーリスクに関する注意喚起等の啓発コンテンツを作成（金融団体）
- ・ 会員事業者がセキュリティ対策のために対応すべき項目の検討し手引書を作成する取組と、企業経営者層への意識改革を行う取組をそれぞれ実施（製造業団体）

【課題例】

- ・ サイバーセキュリティ対策は会員企業にお任せしており、団体としての取組はない（製造業団体）
- ・ SC3立ち上げ時にはアナウンスを行ったが、それ以降は継続した情報発信は行ってこなかった（製造業団体）

※大企業から下請けまでが含まれた縦のサプライチェーン構造を重視している団体と、特定業種の特定のティアで集まった横の関係を重要視している団体とでは取組に差が見られた。

＜サプライチェーンへのサイバーセキュリティ対策の展開の重要性＞

- ・ メーカー団体とも連携し全体のレベルを上げていきたい（製造業団体）
- ・ 団体としてサイバーセキュリティ対策について直接周知が届くのは会員の大企業までで、一次サプライヤーまでは伝わるかもしれないが、二次サプライヤー以降となると難しい（製造業団体）
- ・ 当団体には関連分野の事業者も加盟しているが、このような事業者まで横断的な取組を行うことは困難（事業団体）

意見交換実施結果

2. IT導入補助金の活用を含むお助け隊サービスの活用・推奨依頼

＜お助け隊サービスの情報発信の重要性＞

- 価格的にも現実的で周知を期待（情報通信業団体）
- お助け隊サービスはこれまで知らなかったが、今後周知していきたい（技術団体）
- 費用対効果はいいため、会員企業にどう関心を持ってもらうかが重要（製造業団体）

＜お助け隊サービスの効果的な推進策＞

- 単に補助金を紹介するだけでなく、補助金活用後の便益も明示した方がいい（製造業団体）
- セキュリティ対策自体の必要性から説明できるような一般的な窓口があるといい（土業団体）
- 問題意識を有している中小企業は少ないのが実情であるため、実際の活用・施行事例があると訴求しやすい（金融団体）

＜中小企業より規模の大きい企業における活用の検討＞

- 中小企業にとっては適切なサービス内容だが、中堅規模以上になると活用が難しくなるため、より高度なサービスを組み合わせるなど考えてもいい（製造業団体）

3. 中小企業対策強化WG

「中小企業向けセキュリティ対策オンラインセミナー」の開催案内および周知依頼

＜周知に対する協力＞

- セキュリティ対策の必要性を理解してもらうため、ウェビナーの周知に協力したい（製造業団体）
- ウェビナーの情報を会員企業に配信したい（製造業団体）
- ウェビナーの周知を行うのであれば、半年ほど前には連絡がほしい（金融団体）

意見交換実施結果

4. 攻撃動向分析・対策WG 経営層向けコンテンツのご案内・意見交換

＜コンテンツの内容に対する評価＞

- ・ コンテンツ内容について勉強になる内容だと思う（製造業団体）
- ・ 啓発ツールとして使えればいい（製造業団体）
- ・ 中小企業にサイバーセキュリティを自分事と捉えてもらうには、中小企業の事例を充実することが必要。身近な事例を紹介するものがない（金融団体）
- ・ 知識よりも経験を基にしたコンテンツを提供した方がいい、インタビュー形式の方が読みやすい（土業団体）
- ・ コンテンツの内容は大手企業の事例が多いが、会員企業はより規模の小さい企業が多い（製造業団体）

＜コンテンツの周知方法＞

- ・ 規模の大きい企業が多い理事企業だけでなく、より小規模なところへ届けさせなければならない（事業団体）

＜コンテンツの形態に関する意見＞

- ・ スライド資料のように説明で使えるものがない（情報通信業団体）

5. 今後のSC3の活動に対する期待

＜SC3との連携の促進＞

- ・ SC3からの情報は委員会や会員企業全体に展開し参考にしており、サイバーセキュリティの動向についての情報を提供してもらえると助かる（情報通信業団体）
- ・ SC3には他業界との業界横断的な意見交換の場になることを期待（経済団体）
- ・ SC3にて、他業界団体が行っている取組で、参考となるものを紹介してほしい（製造業団体）
- ・ SC3が各業界団体を支援できるような形になればいい（製造業団体）
- ・ SC3とともに活動し、サプライチェーンの奥深いところまで手が届くように取り組みたい（製造業団体）